

学校の施設設備と教育目標との関連

問16 あなたの学校の施設設備や教材教具は、学校の教育目標を達成するという考え方にたって、計画的に充実が図られていると思いますか。あなたの考えに合うものを1つ選んでください。

図-27

(N = 312 ㊶, 137 ㊷, 91 ㊸)

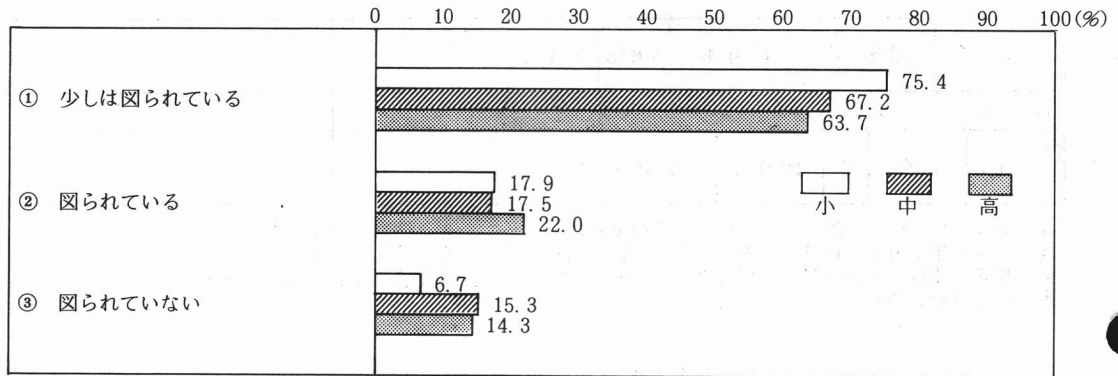


表-7

	問13 教科と教育目標	%	問14 道徳と教育目標	%	問16 施設～と教育目標	%
A	① 考えていない	13	① 考えていない	8	③ 図られていない	12
B	② 少しは考えている	55	② 少しは考えている	55	① 少しは図られている	69
C	③ 考えている	32	③ 考えている	37	② 図られている	19

<考察>

教育目標と施設設備……図-27

「図られていない」と回答している教師が、小中・高平均約12%を占め、ほとんどの教師が程度の差はあっても「図られている」と考えていることがわかる。

しかし、その充実のための施策が、教育目標の達成を前向きに考えてなされているのかどうかという点については、教育目標に対する意識の低さと対比すると、疑問が残る。

表-7は、この設問の結果と、問13の教科と教育目標、及び問14の道徳と教育目標の調査結果とを比較したものであるが、Aの項目が一番少なく、次がC、Bの順になっている。

つまり、教科や道徳の授業を行う場合、教育目標との関連を図ろうとしている学校においては、施設設備や教材教具も、その線に沿って充実しようとしている姿がうかがわれる。

施設設備や教材教具の充実にあたって配慮すべきことは、次のようにまとめることができる。

- 教育課程の実施にあたっては、計画に対応した施設設備が、教育的配慮のもとに、きめ細かに整備される必要がある。

つまり、学校の施設設備の計画樹立の際、学校の教育目標を効果的に達成するために、何が必要かという観点から設計され、教育課程の実施に向けて、合理的に整備されなければならない。

- 教材教具の整備にあたっては、一般には教材費による購入をまず考えて、充足率の低いものから順に充実していく方法がとられるのが常態であるが、これについても、教育目標とのかわりを考慮に入れて、購入計画を立てることが必要である。